

景観まちづくり通信

勝浦のまち歩き

朝市 所在 千葉県勝浦市浜勝浦



景観まちづくり委員会
出堀 義夫



▲2つの朝市通りのイメージマップ

12月の晴れた日曜日、訪れた時間も昼に近かったため人通りが少なかった。

約430年の歴史、農水産物の交換から始まったという。勝浦朝市は日本の3大朝市の一つともいわれる。人の流れが商売を成立させている。もともと裕福でない生産者が、いわば自然発生的に道路いわば道端で新鮮な魚や取り立ての野菜・お菓子を並べ一定の約束の中(登録制)で商売をする。いわば商売の原型のような形態をもつ。高度成長期には出店者の120店舗の登録者もあり相当の賑わいを見せたという。



▲朝のあきないが終わり商売の道具がしまわれている

とはいえ出店者の高齢化も進み、新たに出店する出店者も頭打ちで補充できず、さらにコロナ禍もあり、追い打ちかける状況で朝市も苦しい時代にあるという。